

氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	臨床生理学、睡眠学、時間生物学				
学位	博士（保健学）				
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了, 2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了				
経歴	2000年日本大学医学部副手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院研究員, 臨床検査技師, 2010年日本学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム＆ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田大学スポーツ科学学術院助教, 2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教, 2017年埼玉県立大学健康開発学科准教授				
所属学会（役職）	日本睡眠学会（評議員、国際機関誌編集委員）、日本時間生物学会（評議員）、日本PSG研究会（幹事）、日本臨床神経生理学会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床検査学教育学会、American Association of Sleep Technologist (AAST)、American Academy of Sleep Medicine (AASM)、National Sleep Foundation (NSF)				

【2020年度実績】

1. 研究業績					
(1) 著作					
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名
1	最新臨床睡眠学第2版：多回睡眠潜時検査 (MSLT)・覚醒維持検査 (MWT)	単著	あり	日本臨牀社、181-187.	有竹清夏、内山真（編）
(2) 論文					
		単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Periocular skin warming promotes body heat loss and sleep onset: a randomized placebo-controlled study	共著	あり	Sci Rep. 10(1):20325	Ichiba T, Suzuki M, Aritake-Okada S, Uchiyama M.
2	これからの睡眠医療における検査技師教育の在り方 一海外の状況を踏まえてー	単著	なし	睡眠医療, 15:115-119.	有竹清夏.
(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）
1	高齢男性におけるレム睡眠出現率減少を伴う睡眠時間の過大評価と総死亡リスクの関連	共同		不眠研究会第36回研究発表会	○内海智博, 吉池卓也, 有竹清夏, 松井健太郎, 長尾賢太朗, 斎藤かおり, 鈴木正泰, 都留あゆみ, 大槻怜, 福水道郎, 山元健太郎, 綾部直子, 羽澄恵, 栗山健一
2	睡眠検査技師の教育_教育者の立場から [シンポジウム]	共同		第1回日本睡眠検査学会学術集会	○有竹清夏.
3	足浴による温熱刺激と睡眠中の睡眠構造及び体温変動	共同		第1回日本睡眠検査学会学術集会	○伏見もも, 中島悠, 上永吉幸奈, 三枝桃菜, 中島未祐, 飯島竜星, 岡田(有竹)清夏
4	主観的入眠潜時と睡眠構造の関連	共同		第1回日本睡眠検査学会学術集会	○飯島竜星, 門岡あかり, 菅原海莉, 伏見もも, 細江みづき, 有竹清夏
5	中年群における短時間睡眠に伴う非休養感、および高齢群における長時間臥床に伴う非休養感と総死亡リスクの関連	共同		国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所報告会（第32回）	○吉池卓也, 内海智博, 松井健太郎, 長尾賢太朗, 都留あゆみ, 大槻怜, 福水道郎, 山元健太郎, 綾部直子, 羽澄恵, 斎藤かおり, 北村真吾, 有竹清夏, 鈴木正泰, 栗山健一
6	一般高齢男性における不眠、睡眠時間の誤認、およびレム睡眠出現率と総死亡リスクの関連	共同		国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所報告会（第32回）	○内海智博, 吉池卓也, 有竹清夏, 松井健太郎, 長尾賢太朗, 都留あゆみ, 大槻怜, 福水道郎, 山元健太郎, 綾部直子, 羽澄恵, 斎藤かおり, 鈴木正泰, 栗山健一
(4) その他					

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	日本睡眠学会 Newsletter	単独	日本睡眠学会, 41.	○有竹清夏.	2021.1		
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省科学研究費補助金 (基盤B: KAKENHI 19K03348)		高齢者の不眠に対する認知行動療法の最適化	研究分担者	2020.4-2021.3		
2	厚生労働科学研究費補助金 (19FA1009)		健康づくりのための睡眠指針「2014」のブラッシュアップ・アップデートを目指した「睡眠の質」の評価及び向上手法確立のための研究	研究分担者	2019.4-2021.3		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	生理機能検査学Ⅰ	○	15	2年次前期3.4限 30時間：科目責任者として心電図、脳波、筋電図などの基礎および臨床に関する講義、定期試験作成・実施を行った。			
2	生理機能検査学Ⅱ	○	8	2年次前期3.4.5限 15時間：科目責任者として呼吸機能検査の講義、定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。			
3	生理機能検査学Ⅲ	○	8	3年次前期1.2.3限 15時間：科目責任者として感覚機能検査の講義、定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。			
4	画像検査学	○	15	3年次前期1.2.3限 30時間：科目責任者として画像検査の講義、定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。			
5	生理機能特論	○	8	4年次後期2限 15時間：科目責任者として生理機能全般に関する講義・演習を行った。			
6	臨床検査概論		1/8	1年次前期5限 2時間：科目担当者として生理機能検査概論を講義した。			
7	検査機器総論		1/15	1年次後期 2時間：科目担当者として病院見学に帯同した。			
8	生態情報評価学		3/15	大学院博士前期課程1年次 6時間：科目担当者として講義を行った。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	人体生理機能演習	○	30	2年次前期3.4.5限 30時間：科目責任者として生理学実習の説明・実演および実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った。			
2	検査総合演習Ⅱ		2/15	4年次後期2.3限 4時間：科目担当者として臨床検査科目のうち生理機能検査学について総括を行った。			
3	健康福祉科学演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った。			
(3) 実習							
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	生理機能検査学実習	○	23	3年次前期1.2.3限 45時間：科目責任者として循環器、脳神経、呼吸機能の検査項目9種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。			
2	画像検査学実習	○	23	3年次後期3.4.5限 45時間：科目責任者として超音波画像、感覚機能の検査項目種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。			
3	臨地実習		2020.12-2021.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設への訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の病院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。			
4	IPW実習		2021.1	4年次後期 4日間：科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設への訪問・対応、学生対応などを行った。			
(4) 論文指導							

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2020.4~2020.12	主指導 4名	副指導 名		
2	修士論文	2020.4~	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 名		
3	博士論文	2020.4~2021.3	主指導（指導教員） 名	副指導（副査） 1名		
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科	2020.4-2021.3	3年次生理検査学Ⅱ：非常勤講師として生理検査学の講義を担当した。			
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月		
1	埼玉県立大学Web講座 第18回コロナ禍における高齢者の健康のために	埼玉県立大学	「新型コロナストレスに負けない睡眠健康」のために	2020.10		
2	埼玉未来大学 熊谷学園	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ（睡眠の効用）	2020.12		
3	埼玉未来大学 川口学園	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ（睡眠の効用）	2020.12		
4	埼玉未来大学 嵐山学園	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ（睡眠の効用）	2020.12		
5	埼玉未来大学 春日部学園	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ（睡眠の効用）	2020.12		
6	埼玉未来大学 川越学園	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ（睡眠の効用）	2021.1		
7	埼玉未来大学 伊奈学園	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ（睡眠の効用）	2021.2		
8	武田薬品工業/IQVIA、日本創薬株式会社	武田薬品工業	臨床試験におけるPSGおよびMWTの概要とトレーニング	2020.12, 2021.1-3		
9	高校出張講座 わせがく高等学校川越キャンパス	研究・地域産学連携担当	勉強や運動のパフォーマンスを上げるための睡眠のコツ	2020.10		
10	越谷市立平方中学校 学校保健委員会（新型コロナ事情により中止）	睡眠健康推進機構	睡眠のメカニズム、健康に与える影響、望ましい睡眠のとりかた	2020.10		
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等						
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期		
1	日本睡眠学会		評議員	2007.7-		
2	日本睡眠学会		生涯教育セミナー作業部会委員	2007.7-		
3	日本睡眠学会		国際機関誌編集局員	2016.7-		
4	日本時間生物学会		評議員	2010.4-		
5	日本PSG研究会		幹事、学術交流部所員	2010.4-		
6	日本睡眠検査学会		評議員	2020.9-		
7	日本睡眠検査学会		学術交流委員会	2020.9-		
8	日本睡眠検査学会		学術企画委員会	2020.9-		
9	日本睡眠検査学会		精度管理委員会	2020.9-		
(3) ジャーナリズムでの発言						
	メディア等の名称		内容	年月		
(4) その他						
	項目	相手方等	内容	期間		
1	産業支援	製薬会社	臨床試験に関する中央判定業務	2019.5-		
2	産業支援	USEN株式会社	音楽が入眠および目覚めに与える効果についての産学連携共同研究	2020.2-		
3	産業支援	武田薬品工業株式会社	臨床試験に関する医療技術支援	2020.2-		
5. 学内運営						
	項目		内容	期間		
1	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会		2020.4-		
2	学科等における委員会等	臨地実習担当		2018.4-		
3	学科等における委員会等	大学院教務担当、大学院博士後期課程設置ワーキンググループ		2018.4-		
4	学科等における委員会等	将来構想検討ワーキンググループ		2019.8-		
5	学生支援	学生担任教員（1年）、学生担当アドバイザー、学習及び進路などの相談・支援		2018.4-		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）						
	受賞名		主催	受賞年月		
1	不眠研究会第36回研究発表会 大熊賞（共同演者）		エーザイ株式会社	2020.12		
7. 特許の取得						

特許名	特許番号	登録年月
1 該当なし		
8. 特記事項		
該当なし		